

### 第3回 旭川流域懇談会 議事要旨

第3回旭川流域懇談会は、事務所長の挨拶に続き、平成15年度の旭川流域懇談会活動のまとめ、平成16年度の旭川流域懇談会活動計画について討議を行った。議事要旨は以下のとおり。

| 旭川流域懇談会の質疑内容   | 質疑に対する意見・回答及び決定事項   |
|--|---|
| <p><b>1.平成15年度の旭川流域懇談会活動のまとめについて</b><br/>平成15年度に実施した旭川流域懇談会活動結果及び諸情報の共有について意見交換を行った。</p> | <p>(1)旭川流域懇談会活動について<br/>委員意見<br/>・下流域で河川整備を進めていく上で利水関係は大きく影響するため、利水の現状について情報を提供してほしい。<br/>事務局<br/>・旭川の利水関係では水道用水、工業用水、農業用水等の水利用があり、水利権、取水量や施設の関係を整理し、情報提供していきたい。</p> <p>(2)「旭川・百間川協議会だより」の発行について<br/>委員意見<br/>今後「旭川・百間川協議会だより」を発行していく対象として、他にどのような協議会があるのか。<br/>事務局<br/>・「旭川・百間川協議会だより」は、現在設置している「百間川分流部周辺有効活用方策検討協議会」と「百間川河口水門周辺有効活用方策検討協議会」の2つの協議会の経過について情報公開するものである。<br/>・協議会は、地域住民の参加も含め、分流部と河口水門の2つの協議会を設置している。また、専門家による検討として、「旭川(分流部)水理検討委員会(閉会)」、「二の荒手調査委員会(閉会)」及び「旭川植生管理方針検討会」があり、結果や経過については、情報提供していく予定である。</p> <p>(3)旭川の課題について<br/>委員意見<br/>・旭川の課題として、既存協議会のテーマが大きい課題と受け止めてよいか。その他はないのか。<br/>事務局<br/>・百間川に洪水を安全に分流させるために分流部と河口水門整備を地域の方に御理解いただき進めたいというのが、現在の旭川の課題・懸案であり、協議会の提言については分科会に反映していく予定である。<br/>・将来的には、東西中島地区周辺の治水対策や、河川に繁茂している樹木の適切な管理などが課題になると考えている。</p> <p>(4)上・中流域との繋がりについて<br/>委員意見<br/>・今後、直轄区間の整備計画を考える上で自然環境やダムなど上・中流域との繋がりは大事であり、上・中流の問題をどのように取り込んでいくのか。<br/>事務局<br/>・既存ダムの機能のあり方などを基本方針の中で詰め、平成16年度内に方針を出せればと考えている。<br/>また、上・中流域は岡山県が河川整備計画を策定しており、その内容についても情報提供する機会を設けたい。</p> |

| 旭川流域懇談会の質疑内容   | 質疑に対する意見・回答及び決定事項  |
|--|--|
| <p><b>2.平成16年度の旭川流域懇談会活動計画について</b><br/> 「旭川流域委員会及び準備会」のスケジュールの見直しについて<br/> 全国の河川整備基本方針の策定状況を踏まえ、事務局より旭川流域委員会の設置は平成 17 年 4 月目途、河川整備計画策定は平成 18 年度中にずれ込むとするスケジュールの見直しについて説明した。<br/> 旭川流域懇談会活動の方向性について<br/> 平成15年度の旭川流域懇談会活動を通じて頂いた意見を踏まえ、事務局より今後の活動の方向性について提案した。<br/> 平成16年度の旭川流域懇談会活動計画について<br/> 平成 16 年度の旭川流域懇談会活動計画について、事務局より提案した。</p> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・了承（旭川流域懇談会各員）</li> <br/> <li>・了承（旭川流域懇談会委員）</li> <br/> <li>地域住民への情報提供について<br/>委員意見</li> <li>・旭川の特徴（良い点、悪い点、重要度、歴史、文化など）について地域住民にも理解されやすい手法を考えてほしい。（他河川との相对比较、ホームページ・ビデオ・DVDなどの活用）</li> <li>・最近、文化景観の概念が打ち出されてきている。単なる自然景観ではなく、歴史の積み重ねの中で人間が手を加えてきたその積み重ねが一つの景観を形成しており、積極的に評価して今後に生かす動きが日本でも世界的にも進んできている。旭川では勝山の高瀬舟の発着場跡、下流域では後楽園や岡山城が代表的であるが、中原橋とか、龍ノ口山塊と旭川も文化景観と言える。旭川の文化景観の発掘とアピールが必要ではないか。</li> <li>事務局</li> <li>・ご意見を踏まえ、相对比较など整理の上、情報提供に努力していきたい。</li> <li>論点の明確化について<br/>委員意見</li> <li>・現状、課題を議論する上で、それを何のために議論しているのか、論点を明確にしてほしい。治水と環境をどう調和させていくのかを議論するため、今後説明する資料はメリット、デメリットなどを系統立てて整理してほしい。</li> <li>自治体との連携について<br/>委員意見</li> <li>・河川管理者だけで旭川の将来の姿を決めるのは難しい。地域住民の要望の捉え方として、県及び市町村は旭川をどう考えているのか、また各自治体は何ができるのかなど意見交換を行う必要がある。</li> <li>事務局</li> <li>・事務的な話で終わらないよう、レベル毎に色々意見交換していきたい。</li> <li>他事例の情報提供について<br/>委員意見</li> <li>・他河川流域委員会の事例を見ると発言の重みが増してきているように感じられるが、そうした情報も提供してほしい。</li> <li>旭川下流域現地見学会について<br/>委員意見</li> <li>・見学にあたっては、現地に行く前に旭川の概要を説明するなど、理解を深めた上で行ってほしい。</li> </ul> |
| <p><b>3.その他</b><br/> 旭川・百間川改修の必要性について、事務局より情報提供を行った。</p>   |  |

